

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	<b>11</b>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<b>2</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<b>6</b>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<b>11</b>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	3972500460
法人名	社会福祉法人 清流会
事業所名	グループホーム やすらぎの里
訪問調査日	平成20年11月26日
評価確定日	平成21年2月5日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3972500460
法人名	社会福祉法人 清流会
事業所名	グループホーム やすらぎの里
所在地 (電話番号)	高知県高岡郡四万十町仁井田114-1 (電話) 0880-22-9508

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年11月26日	評価確定日	平成21年2月5日

## 【情報提供票より】(平成20年11月3日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成13年10月1日、平成18年5月2日(増築)		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 11人、非常勤 5人、常勤換算 7人	

## (2) 建物概要

建物形態	併設	新築
建物構造	鉄筋コンクリート造り、(増築部分)木造平屋建て	
	4 階建ての	1 階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	19,500 円	その他の経費(月額)	21,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	200 円	昼食 350 円
	夕食	450 円	おやつ (月額) 3,000 円
	または1月当たり	33,000 円	

## (4) 利用者の概要(11月3日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	2 名	要介護2	5 名		
要介護3	4 名	要介護4	6 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 88 歳	最低 75 歳	最高 100 歳		

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	くぼかわ病院 とい歯科クリニック かつみ歯科
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

豊かな自然に囲まれた静かな環境の中に建つ事業所はケアハウスと併設されており、イベントをケアハウスと合同で開催するなど、互いに連携して頻繁に交流している。その中で地域の人々との出会いも多く、ケアハウスの利用者と共に単独の事業所では味わえない地域での生活を楽しんでいる。利用者の自主性を尊重し、散歩や買物の希望があれば毎日でも出かけるなど、特に外出支援には力を入れている。ケアハウスを中心に地域との交流に努めている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での改善課題のうち、「市町村との連携」、「馴染みながらのサービス利用」「利用者本位の介護計画」など既に改善されている課題があるが、「地域とのつきあい」、「家族等への報告」、「災害対策」など未だ改善されていない項目もあり、早期の取り組みを期待したい。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全職員で意見を出し合い自己評価に取り組んでいるが、評価を実りあるものにするためにも運営者への報告も行い、法人一丸となって評価に取り組んでいくことを期待したい。また、評価で見出された課題については、運営推進会議で報告し、取り組み方法の検討、経過の確認を行うことも期待したい。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 会議は2カ月に1回開催し、事業所から主に行事などの近況報告を行い、参加メンバーからは推進会議の進め方などについてアドバイスを受けている。また、ケアプランや地域との交流等について意見や質問が出されるなど、双方向的な会議となっている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 事業所として家族会を組織しておらず、意見箱も設置していない。家族や利用者の希望、意向の把握に努めるためにも、家族会を組織し、家族同士が話し合える場を作りたい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 併設のケアハウス主催の四万十ピア祭りには、地域住民や保育園児、小・中学生、ボランティア、他の施設の利用者などの参加があり、共に交流している。また、中学生の職業体験実習の受け入れ、保育園児との芋掘りなどの交流も行っている。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。  「いつまでも地域の一員として明るい笑顔を絶やさぬよう」という、地域密着型サービスとしての独自の理念がある。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。  理念の中にある「自分らしさ」「尊厳」「安らかな毎日を送る」の3つの柱について、月1回の職員会の時に話し合い、意識づけをしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。  個人の意志を尊重し、押し付けるような態度ではなく、優しく接し、利用者一人ひとりに合わせた言葉かけを心がけている。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。  町内会には加入していない。  <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。  開設当初から、ケアハウス、ヘルパーステーションとあわせて有機的関連を持つ総合施設で、神祭にあわせて「四万十ピア祭り」を開催、高齢化で地域の伝統行事が寂れてしまう中、部落の中心となって行事を執り行い、場所も提供し、経済的な援助も行い、地域の清掃、高齢者を対象とした月3～4回の集会開催場所の提供、町の緊急時の避難場所など、法人がそれぞれの事業所を統括し一体として、地域に密着した存在、地域の拠点として貢献している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 全職員で意見を出し合い自己評価に取り組んでいるが、運営者への報告がされていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 評価で見出された課題は全職員で検討し、改善計画を立て、改善に向けて取り組んでいる。	○	全職員で意見を出し合い自己評価に取り組んでいるが、評価を実りあるものにするためにも運営者への報告も行い、法人一丸となって評価に取り組むことを期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 事業所から主に行事などの近況報告を行い、参加メンバーからは運営推進会議の進め方などについてアドバイスを受けている。また、ケアプランや地域との交流等について意見や質問が出されるなど、双方向的な会議となっている。 <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 運営推進会議では、外部評価及び改善計画についての報告がされていない。	○	評価で見出された課題については、運営推進会議で報告し、取り組み方法の検討、経過の確認を行うことも期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 中学生3人の職業体験実習の受け入れや、市の地域包括支援センターに運営上の相談や指導を受けるなど、交流を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族の来訪時には近況報告を行っている。 <input type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 過去に2回程「ホーム便り」を作ったことがあるが、今はケアハウスが作成している「ピア通信」の中に一部掲載しているのみである。現在、グループホーム便りの発行に向けて準備中である。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 月1回請求書送付時に金銭出納帳のコピーと領収書の原本を同封し、報告している。	○	家族等の安心の確保、家族と事業所の連携の強化を図るためにも、事業所独自のホーム便りを作成し、利用者一人ひとりの日々の暮らしぶりなどを家族に伝える事を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。  家族会は組織されていない。  <input type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。  家族から意見があればすぐに対応して解決しているが、記録には残していない。	○	家族や利用者の希望、意向の把握に努めるためにも、家族会を組織し、家族同士が話し合える場を作るとともに、意見箱の設置なども検討することを期待したい。また、意見や苦情への対応で終わるのではなく、今後のサービスの質の向上に役立てるためにも、記録シートを作成するなど、全職員が課題を共有するような取り組みを期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。  併設のケアハウスとの間で管理者の異動があり、また、退職者も続いて出ている。  <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。  引き継ぎ期間は、管理者で2カ月、職員で1週間とり、スムーズに移行できるよう配慮している。	○	管理者を含む職員の離職を最小限に抑える方策を法人全体で検討し、取り組むことを期待したい。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。  パート職員を含む一部の職員が研修に参加できていない。  <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。  研修内容は職員会で報告し、共有している。	○	年間の研修計画を立て、パート職員も含め全職員が研修に参加できる体制づくりを期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。  県内のグループホーム連絡協議会に加入している。  <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。  町内5カ所のグループホーム連絡会に参加し、互いに情報交換、職員交流等を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>入居に際しては、家族や病院から情報を収集し、本人や家族の意向も確認している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>入所前に本人や家族が見学にきている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>複数の職員が面接を行っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>洗濯、食器洗い、畑作りなど利用者ができる事は手伝ってもらい、協働しながら和やかな生活ができるように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>寂しさや心の動揺を訴える利用者には、居室で時間をかけて思いや昔の話を聞くなど、利用者の気持ちを理解し共感するようにしている。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>昔からの習慣で晩酌をする人、散歩に行きたい人、食べることが好きな人など、利用者の思いや希望は常に把握し、意向に沿えるようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族からの情報や日々の言動から推測して対応している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 本人や家族の意向を確認して介護計画を作成している。  <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 全員で検討し、カンファレンスを行い、個々の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 長期6カ月、短期3カ月の期間設定をし、見直している。  <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 何か変化があればすぐに見直し、個別の期間設定を行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。 協力医療機関の往診を受けながら、事業所で生活が継続できるように努めている。  <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。 通院は全て職員が対応し、買物にも職員が一緒に行き、柔軟に支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 本人が希望する医療機関に職員が同行して受診している。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 受診結果は定期受診も含め家族に連絡し、情報を共有している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>看取りマニュアルを作成し、状況に応じて家族、医師との話し合いを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられように取り組んでいる。</p> <p>過去に看取りの経験もあり、事業所として連携をとりながら、納得した最期が迎えられように取り組んでいる。</p>		
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。</p> <p>排泄介助の声かけは耳元で話しかけるなど、本人を傷つけてしまわないように配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>職員は利用者のプライバシーを話さないことについて理解しており、管理者からも適宜指導している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>個人情報保護法に関する書籍や資料を揃え、職員が理解を深める取り組みをするなど、プライバシーの確保の徹底に努めている。</p>		
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。</p> <p>体調や気持ちの変化に留意し、買物に行きたい人、畑に行きたい人、家に帰りたい人など一人ひとりの希望に沿った対応をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。</p> <p>その日の個人の気持ちを大切に、希望に沿った対応をしている。</p>		



外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。  職員が調理し、利用者にはテーブル拭き、盛り付け、配膳、下膳、食器洗い等、できる事を手伝ってもらって一緒に進めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。利用者や職員は同じ物を一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 毎日午後から、利用者の希望を確認して入浴の支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。  時間を変えたり人を変えたりするなど、気長く話しをして対応している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。  畑仕事が好きの人、歌の好きな人、編み物が得意な人等、それぞれの好きなことを把握し、それを発揮できる場面を作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。  塗り絵、書道、計算ドリル、百人一首など声かけして行うことにより、楽しみごとを作り出すための働きかけをしている。		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。  好きなラーメン屋など、馴染みの店に出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。  車イスの人も毎日散歩に出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。  散歩は毎日全員で出かけ、買物は希望があればその都度出かけている。また、年4～5回全員でドライブにも出かけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 外出傾向のある人はさりげなく見守っており、外出した時には後をつけて行き、安全に気を配っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 近所の人に協力してもらえるよう声かけをし、連絡してもらえる関係ができています。</p>		
27	71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p><input type="checkbox"/>事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 事業所を含めた同一法人の施設が合同で定期的に防災訓練を実施している。地域住民は参加していないが、当該施設は地域における最も安全な建物であること、地域の避難場所であること、まずは建物から外へ出ないようにとの指導が消防からあること、集合可能な職員が近隣にいることなどから、災害時には実質的に現行の避難訓練で対応可能である。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 非常用食料については非常用ガスコンロやボンベと一緒にケアハウスに法人施設全体の分を備蓄し、飲料水についても、検査を受けた水を24立方メートル備蓄し、非常用の消毒剤等も準備している。</p>		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 栄養摂取量、水分量は毎日チェック表に記入し把握している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 嫌いな物がある人や食物アレルギーのある人には内容を変え、対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 食材を購入している委託の食品業者の栄養士にチェックしてもらっている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>ソファや椅子を配置し、畳のスペースをとり、利用者の好きな磯釣りの写真を飾るなど工夫した共用空間となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>書道、塗り絵、折り紙、手作りの大きなカレンダーなど利用者の作品を壁面に飾り、家庭的な雰囲気が窺われる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>玄関前に季節の花を植え、室内には活け花を飾り、利用者が作ったつるし柿があるなど、季節感等に配慮したものとなっている。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>テレビ、タンス、椅子、縫いぐるみ、家族写真等、家族の協力により馴染みの物が置かれている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>本人の好みを把握して、職員が工夫して居室づくりに取り組んでいる。</p>		